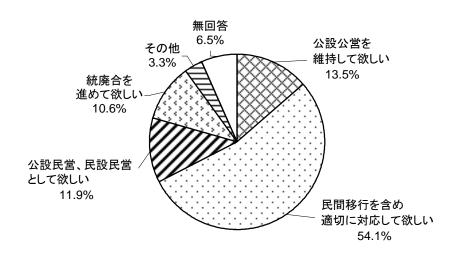
3-2 公共施設の民間移行についての考え方

◎ 「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が5割半ば。

問19. 市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要です。職員を削減 しつつサービスを維持するために、公共施設の管理運営・事務事業の実施を 民間に移行していくことについて、あなたはどうお考えになりますか。(1 つだけにO)

公共施設の民間移行について聞いたところ、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が 54.1%で最も多く、次いで、「公設公営を維持して欲しい」が 13.5%、「公設民営、民設民営として欲しい」が 11.9%、「統廃合を進めて欲しい」が 10.6%となっている。

図 3-2-1



n=2,034

性別にみると、男性は「統廃合を進めて欲しい」が **4.8** ポイント高く、女性は「公設公営を維持して欲しい」が **3.2** ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」は 20 代から 50 代で 6 割前後となっている。「公設公営を維持して欲しい」は 70 歳以上で 2 割となっている。

80 100(%) 20 40 全 体 (2,034) **3.5** 54.1 11.9 \\ 10.6 \ 3.3 6.5 11.8 > √13.4 ×3.6 男性 (890) 55.2 女性 (1,126) **₩14.9** ₩ 53.3 11.8 8.6 3.2 8.2 2.11.7 € X10.6 ≥1.7 2.2 **33** 15.0 58.9 20代 (180) 10.8 9.7 4.6 60.4 (371) 30代 10.6 ⊗ 61.1 11.8 7.4 5.3 40代 (339) **89.3** ⊗ 13.7 2 9.0 4.0 5.0 58.9 50代 (321) 49.0 14.3 \$\infty 13.6 \infty 2.8 7.6 60代 (435) **21.5** 40.9 8.9 (2.6 (1.3 14.7 (381) 70歳以上 公設公営を維持して欲しい 民間移行を含め適切に対応して欲しい 公設民営、民設民営として欲しい その他

🕅 統廃合を進めて欲しい

無回答

図 3-2-2 公共施設の民間移行:性別・年齢別

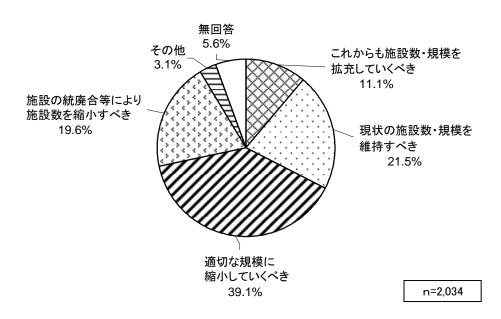
3-3 公共施設の施設数・規模についての考え方

◎ 「適切な規模に縮小していくべき」が4割。

問20.「習志野市公共施設マネジメント白書」等の分析により、本市の公共施設の耐震化の遅れや、老朽化の問題が明らかになってきました。現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくと、今後多大な費用負担となることが見込まれます。この対策について、あなたはどうお考えになりますか(1つだけに〇)

公共施設の施設数・規模を維持したまま改修・改築を行なうべきかについて聞いたところ、「適切な規模に縮小していくべき」が 39.1%で最も多く、次いで、「現状の施設数・規模を維持すべき」が 21.5%、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が 19.6%、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」が 11.1%となっている。

図 3-3-1



その他

無回答

性別にみると、男性は「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「適切な規模に縮小していくべき」は 20 代から 40 代で 4 割以上であるが、年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は 60 代で 2 割半ば、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」は 70 歳以上で 1 割半ばとなっている。

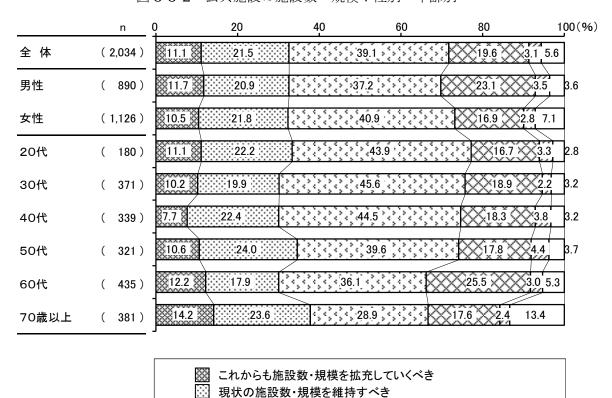


図 3-3-2 公共施設の施設数・規模:性別・年齢別

適切な規模に縮小していくべき

施設の統廃合等により施設数を縮小すべき